



2005年11月22日

内閣総理大臣 小泉純一郎 様
外務大臣 麻生 太郎 様
防衛庁長官 額賀福志郎 様

辺野古岬への新基地建設計画の白紙撤回を求める要望書

日米両政府は、10月29日に日米安全保障協議委員会(2プラス2)を開き、在日米軍再編の中間報告として、普天間基地の移設先について、辺野古岬(キャンプ・シュワブ)とその沿岸を埋め立てることで合意したと発表しました。全長1720㍎(滑走路1520㍎)の基地は、米海兵隊の次期主力戦闘機MV22オスプレイ垂直離着陸機の配備を念頭においた規模となっており、施設の大半が埋め立てを伴う海上基地は、辺野古の海の生態系を大きく変えることとなります。住宅地に近く、危険や騒音など被害が大きいため、一度廃案になった場所に、恒久的な基地を建設するという政府の姿勢には納得がいきません。沖縄県知事は10月31日、受け入れ拒否を表明しました。

ところが政府は、沖縄県民の強い反対と知事の拒否に備えて、県知事の有する公有水面の使用許認可権限を国に移す特別措置法を、年明けの通常国会に提出する方向で検討されているとのことです。1997年の米軍用地特別措置法(土地取り上げ法)に続く、法治主義をないがしろにする暴挙であり、基地建設は地元を無視し、陸も海も、国の思うままということなのでしょう。沖縄は無人島ではなく、135万人の生活の場です。国民の生活・生命を守る責任のある政府に対し、移設案の白紙撤回を強く求めます。

市街地の真ん中に位置する普天間基地は、即時に代替なしでの返還が必要です。昨年8月13日の沖縄国際大学構内への、米軍ヘリ墜落事故以来「基地の負担軽減」を表明しつつけた政府に、その実行を求めます。今回の米軍再編は、沖縄県民の願った米軍基地撤去につながる「基地の整理縮小」ではなく、古くなった基地を最新鋭の基地につくりかえ、米軍の戦略拠点としての再編強化にほかなりません。沖縄を米軍の出撃・攻撃基地として、永久に固定化するものです。さらに、その移転・建設のための費用を日本が負担するとは、もってのほかです。軍事基地は、人を殺し・物や自然を破壊するためのものです。決して、認めることはできません。

私たちは、この「合意」に強く抗議し、以下のことを要望します。

1. 辺野古岬への新基地建設と一方的な日米合意の白紙撤回
2. 普天間基地の即時閉鎖・無条件返還

以上

沖縄YWCA 会長 大城美代子 ・熊本YWCA 会長 高野和佳子 ・長崎YWCA 会長 熊江雅子・
広島YWCA 会長 難波郁江 ・呉YWCA 会長 長尾真理子 ・神戸YWCA 会長 片山 恵・
大阪YWCA 会長 辻 加代 ・京都YWCA 会長 勝山久仁子 ・名古屋YWCA 会長 馬上貴美子・
静岡YWCA 会長 藤原玲子 ・浜松YWCA 会長 古川道子 ・新潟YWCA 会長 横山由美子・
甲府YWCA 会長 五味優子 ・平塚YWCA 会長 三股まさ子 ・湘南YWCA 会長 松山恭子・
横浜YWCA 会長 八木高子 ・東京YWCA 会長 坂口和子 ・浦和YWCA 会長 長尾明美・
福島YWCA 会長 荒木紀子 ・仙台YWCA 会長 庄子泰子 ・弘前YWCA 会長 本郷敦子・
函館YWCA 会長 豊福弘子 連絡先：日本YWCA 〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-8